

# 迎春



勝山市長  
山岸 正裕

あけましておめでとございます。市民の皆さまには、ご健勝にて輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、中部縦貫自動車道永平寺大野道路が開通し、勝山ICが北陸自動車道と完全に繋がりました。2022年度には北陸新幹線が、敦賀まで延伸し開業の予定です。それとほぼ同時に大野油坂道路が、東海北陸自動車道と連結を見込むなど新たな交通ネットワークの構築により、勝山市の交流圏が拡大してまいります。

これに伴い、世界3大恐竜博物館のひとつである県立恐竜博物館には、これまで以上に国内外からの観光客が増加するでしょう。

この機会をとらえて、勝山市では「旧料亭花月楼」を、文化の拠点となるまちなか誘客観光施設とするリノベーションを支援しました。そのほか、今春開業予定のジオターミナルや202

0年度に完成予定の道の駅などの物販・観光案内施設についても充実していきます。

このような施設を活用し、恐竜をきっかけに来訪した観光客を、平泉寺などのすばらしい観光素材や市街地に誘導する仕掛けづくりが今後10年の課題と考えています。

また、恐竜を活かしたまちづくりの取り組みとして、市内の小学生が恐竜と愛着心が醸成できる研究会「かつやまこども恐竜LABO」を発足しました。将来、この中から「恐竜博士」が誕生するかもしれません。

秋には勝山市が制作を支援した、ふるさと回帰と家族の絆をテーマにした映画「ローカル線ガールズ」が公開されます。これらの取り組みがU・I・ターンに繋がることを期待しています。

さて、本年は「福井しあわせ元気」国体・大会が開催され、多くの大会参加者や関係者、観客が勝山市を訪れます。バドミントン競技には、勝山市出身で、世界で活躍中の山口茜選手がふるさと選手として出場予定です。市民の皆さまの、温かいおもてなしと応援への「協力をお願いいたします」。

最後に、2018年が勝山市と市民の皆さまにとって、幸多い年となりましたことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

## 平成29年度一般会計補正予算などを可決



12月定例市議会が11月30日～12月18日の19日間の日程で開かれました。

山岸市長は招集あいさつの中で、福井しあわせ元気国体の費用負担や市税収入の伸び悩みがあるなか、更なる経費削減を行い、その一方で、「第5次勝山市総合計画（改訂版）」並びに「勝山市地方創生総合戦略」に掲げる施策を着実に推進するとともに、社会経済状況の変化による新たな課題にも的確に対応すると述べました。

**◆補正予算**  
一般会計では、主な事業として、職員人件費、街路灯維持費等補助金、中山間地域農

業総合対策支援事業費、収益性の高い水田農業経営確立支援事業費、企業振興助成金、地区公民館施設整備事業費などで、7022万5千円を増額し、総額を124億4041万9千円としました。

特別会計では、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、市有林造成事業特別会計などの7つで、合わせて1964万9千円を増額し、総額を8億6708万1千円としました。

**◆条例**  
勝山市ジオターミナルの設置及び管理に関する条例を制定したほか、次の条例が一部改正されました。  
・温泉センター「水芭蕉」の設置及び管理に関する条例

- ・勝山市農業委員会に関する条例
- ・勝山市職員の給与に関する条例
- ・勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例
- ・企業立地の促進等にかかる市税の特例に関する条例
- ・勝山市立学校の設置及び管理に関する条例

**◆その他**  
平成28年度勝山市歳入歳出決算（継続審査事件）が認定、平成28年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算（継続審査事件）が可決ならびに認定されました。

また、勝山市ジオターミナルの指定管理者の指定、土地の処分の2件が可決、6件の請願・陳情に対して、3件が趣旨採択、2件が不採択、1件が継続審査となったほか、特別委員長の報告がありました。

## 冬の風物詩 勝山年の市

とき **1月28日(日)**  
ところ 本町通り  
出店数 **53店** (木工品、地元の特産品 など)

**今年もまちセリ  
やります**

勝山年の市振興会  
(勝山本町通り商店街振興組合内)  
☎090-8269-8529  
勝山商工会議所  
☎88-0463

